

# 会員増強および拡大月間にちなんで

増強・拡大委員長 模 泰 吉 (宝塚武庫川)

増強に関する資料によりますと、2680 地区の会員数は、2001 年には 3,766 人であったのが 2010 年には 2,997 人と 769 人の減少、率にして 79.6%まで落ち込んでいます。ちなみに、日本全体では 76.9%の減少率です。一方、女性会員は 32 から 68 名と 213%増です。ところが、女性会員の占める割合は、日本全体で 4.4%に対し当地区は 2.3%に過ぎません。

先般、当委員会では各クラブ会長にアンケート調査を実施し、その中で、「会員減少の原因としてどんなことが考えられますか」という質問をしました。これに対する回答で目についたのは、次のような意見でした。(順不同)

1. ロータリーそのものに対する原因として
  - ① ロータリーに所属しているステイタスがなくなっている
  - ② 若い世代や若い世代が所属する諸団体のロータリー離れ
  - ③ 職業人社交クラブとしての要素が希薄化している
  - ④ ロータリーを地域社会で十分理解してもらえていない等でした。
2. 自クラブそのものに対する原因として
  - ① クラブに魅力がない・楽しさがない
  - ② クラブ内で年長会員と若い会員との乖離
  - ③ クラブの高齢化により若年層への負担増に耐えられなくなって退会
  - ④ 会員間のコミュニケーション不足
  - ⑤ 例会のマンネリ化等です。
3. 5 年未満の会員の退会者の増加については、新会員の教育・フォローが十分に行われなかったため退会に至る、という回答がありました。
4. クラブの高齢化と高齢会員の増加、自然減(死亡、病気、高齢等による退会)を挙げる回答もありました。
5. 若年会員の入会が難しい原因として、年々、
  - ① 会員の事業後継者 (子息) が入会しなくなった



② J Cをはじめ他団体からの入会数が減少(ロータリーに対する魅力薄が原因)、という回答がありました。

以上の回答を読んでみて、我々ロータリアン一人一人が、そしてクラブが一丸となって努力すれば、会員減少に歯止めがかかるだけでなく、増強・拡大に繋がる要因が見つかるのではないかと思います。

たとえば、2-①の「クラブに魅力がない・楽しさがない」ということについては、クラブ内で十分話し合いをし、実践に向けて努力することは容易なことではないでしょうか。次に、2-②の「クラブ内で年長会員と若い会員との乖離」、2-④の「会員間のコミュニケーション不足」という問題についても、クラブでその解消に向けて何らかの工夫を試みることは簡単なことではないでしょうか。努力してみることは容易なことではないかと思います。また、5 年未満の会員の退会者の増加について、新会員の教育・フォローが十分に行われなかったために退会に至るなんていうことは、クラブの怠慢そのものではないでしょうか。今一度、増強・拡大に向けて皆で協議し、実行しようではありませんか。